

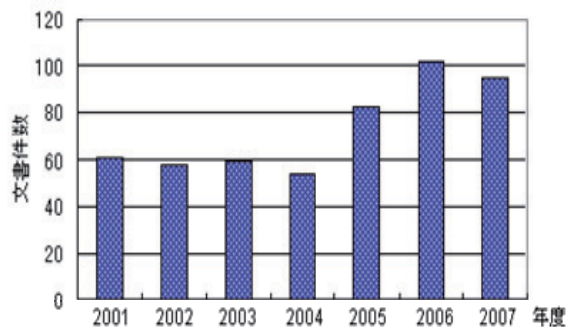
鉄道分野の I E C 国際規格 の動向と鉄道総研の役割

〔概要〕

IEC（国際電気標準会議）では、鉄道技術はTC9と呼ばれる専門委員会が取り扱っています。鉄道総研はIEC/TC9の国内審議団体として国際規格の開発のために、国際会議への参加や国内委員会の運営、各種会議の開催に積極的に取り組んでいます。

〔IEC/TC9の動向〕

TC9では、2005年からIEC中央事務局から発行される文書が増えてきています。昨年度、TC9で審議された主な規格案を以下に示します。



IEC/TC9発行文書量の推移

規格番号	作業部会通称	開発段階
IEC61375シリーズ	列車内情報制御伝送系（TCN）	CD
IEC62236	電磁両立性EMC	FDIS待ち*
IEC62267	無人運転システムの安全要件（AUGT）	CDV
IEC62290-2	輸送システムの管理と指令（UGTMS）	CD
IEC62425	信号用安全関連電子システム	IS発行済
IEC62486	架線とパンタグラフの相互作用	CDV*
IEC62497	絶縁協調	CDV*
IEC62498	装置の環境条件	CDV*
IEC62505シリーズ	交流開閉装置	FDIS待ち*
IEC62520	車上一次リニア誘導モータ（LIM）	CD

CD：委員会原案、CDV：投票用委員会原案、FDIS：最終国際規格案、IS：国際規格、*：迅速手続きにより欧州規格が提案されたもの。

〔鉄道総研の役割〕

鉄道総研は関係団体や企業と協力し、以下に示すような様々な活動を実施しています。

1. 国際的な活動

- ・ IEC/TC9 年次総会やCAG(Chairman Advisory Group)会議の出席。
- ・ 規格案件毎に開催される国際作業部会への出席。
- ・ 国際会議の開催。(2007年度はAUGT名古屋会議、LIM京都会議開催)
- ・ JISC(日本工業標準調査会)-CENELEC(欧州電気標準化委員会)情報交換会への参加。



JISC-CENELEC情報交換会(2007.10) LIM京都国際会議(2008.1)

2. 国内の活動

- ・ IEC/TC9 国内委員会やTC9調整部会の開催。
- ・ IEC中央事務局や経済産業省の発行文書の管理。
- ・ 国際投票を含むそれら文書に対する必要な対応とその状況監視。
- ・ 国内作業部会(規格案件毎)の管理・運営。
(2007年度は62回の会議を開催)